

発表プログラム 2020年 9月19日 (土)

会場1					会場2				
開始時間	座長	番号	演者	演題	座長	番号	演者	演題	
8:50								開会挨拶 (8:50-9:00)	
9:00						B01	笹沼文恭	2016年に発生した福島県沖地震と津波による攪乱後の蒲生干潟における底生生物群集の変化	
9:15						B02	長崎礼資	東北地方太平洋沖地震前後における女川湾奥のマクロベントス群集構造の変化 (2007-2020)	
9:30					金谷 弦 (9:00-)	B03	加藤萌子	宮城県蒲生干潟における底生珪藻の季節変動	
9:45				開会挨拶 (9:50-10:00)		B04	小田哲也	大野川(熊本県)におけるヒガタアシとヨシの空間分布	
10:00		P01	佐藤 直	紋別市水海展望塔オホーツクタワーにおける <i>Limacina helicina</i> 個体数の長期変動		B05	中村爽	干潟の熱ストレスがハクセンシオマネキの行動に与える影響	
10:15	西部裕一郎 (10:00-)	P02	船井佳南子	西部北太平洋亜寒帯域の水深0-1000 mにおける浮遊性多毛類群集の鉛直分布とその昼夜/季節変化				休憩 (10:15-10:30)	
10:30		P03	川野 歩	相模湾における浮遊性カイアシ類 <i>Paracalanus</i> sp.の産卵戦略		B06	北口晃陽	アナジャコの攪乱が底生動物に及ぼす影響	
10:45		P04	小平 岳	相模湾におけるコロダリア目放散虫類の季節消長		B07	遠藤雅大	奄美大島におけるミナコモツギガニの個体群の季節変化	
11:00		P05	小菅溪太	相模湾におけるマイクロプラスチックのサイズと材料組成の季節変化		B08	木下そら	安定同位体を用いたマングローブ林縁部のベンケイガニ科カニ類の食性解析	
11:15	山田和正 (10:45-)	P06	吉田あかり	遊離アンモニア濃度の調整による藍藻 <i>Arthrospira platensis</i> の選択的培養	千葉 晋 (10:30-)	B09	山元拓実	三重県松名瀬干潟のアマモ葉上に生息するオオワレカラの食性と摂食様式	
11:30		P07	土屋健司	重水素標識ロイシンを用いたバクテリア生産速度測定法の開発		B10	中山大佑	独自情報と社会情報がホンヤドカリの配偶者選択に与える影響	
11:45				休憩 (11:45-12:00)		B11	梶本麻未	フサフクロムシの生活史と季節的性比変動	
12:00				昼食 (12:00-13:00)					
13:00		P08	野坂裕一	<i>Fragilariopsis cylindrus</i> と <i>Detonula confervacea</i> における塩分に対する透明細胞外重合体粒子 (TEP) 生産の特徴		B12	壇辻ゆりか	雄性異体性フジツボ類ハサミエボシにおける雌雄同体と矮雄の適応度	
13:15	片野俊也 (13:00-)	P09	池田哲哉	舞根湾塩性湿地における植物プランクトン群集の季節変化		B13	橋添なな実	ミヨウガイイ類4種の繁殖生態	
13:30		P10	城本将臣	赤潮原因種である海産渦鞭毛藻 <i>Noctiluca scintillans</i> の日本・韓国沿岸域における遺伝的多様性	木村妙子 (13:00-)	B14	塩崎祐斗	共生性カニ類の脱皮行動と宿主脱皮時の行動	
13:45		P11	岸 正敏	安価なシステムを利用したスピリリナ培養の遠隔モニタリング		B15	三藤清香	囊舌目ウミウシにおける大規模な体の自切と再生	
14:00	土屋健司 (13:45-)	P12	増田雄一	縮重PCRを用いた渦鞭毛藻感染性ウイルスHcRNAVIに近縁なウイルスの探索		B16	香川 理	潮間帯巻貝スガイと付着緑藻カイゴロモにおける共生相互作用: 冷却効果の利益と付着コストの軽減が共生関係構築の鍵か	
14:15		P13	田村一紗	放射光X線マイクロビームを用いたナノプランクトンの個別微量元素分析法の開発				休憩 (14:15-14:30)	
14:30				休憩 (14:30-14:45)		B17	保坂圭祐	未記載種 <i>Cytherois</i> sp. mに注目した潮下帯での貝形虫の間隙環境への適応 - 三保真崎海岸を調査地として -	
14:45		P14	飯田 茜	ベトナムで新たに発見されたヒドロ虫類 <i>Blackfordia</i> sp.について		B18	中村大亮	内湾性貝形虫 <i>Bicornucythere bisanensis</i> (Okubo, 1975)における形態学的多様性	
15:00	小針 統 (14:45-)	P15	佐野貴弘	東日本大震災後の岩手県南部沿岸域におけるクラゲ類の出現変動	阿部博和 (14:30-)	B19	杉山高大	寄生性多毛類ナマコウロコムシにおける宿主の体色と対応した隠蔽色の獲得	
15:15		P16	鈴木健太郎	舞鶴湾におけるミズクラゲエフィラの減耗率—海底への沈降による死亡		B20	山守瑠奈	エボシガイ類の宿主転換に伴う生態と形態の変化	
15:30				日本プランクトン学会奨励賞・論文賞 授賞式 (15:30-15:45)		B21	井上香鈴	ヒラシノミ属腹足類における陸上進出史の解明	
15:45				日本プランクトン学会奨励賞 受賞記念講演 (15:45-16:30)		B22	土屋考人	造礁サンゴ、コビミドリシのゲノムワイドSNPを用いた琉球列島〜種子島における集団構造解析	
16:00				日本プランクトン学会奨励賞 受賞記念講演 (15:45-16:30)				休憩 (16:00-16:15)	
16:15				休憩 (16:30-16:45)		B23	渡部裕美	伊豆-小笠原-マリアナ弧の深海熱水噴出域生物群集の連結性	
16:30				休憩 (16:30-16:45)		B24	有山啓之	驚くべきスナリヨコエビ類の種多様性	
16:45				日本プランクトン学会奨励賞 受賞記念講演 (16:45-17:30)	伊谷 行 (16:15-)	B25	阿部博和	日本産イワムシ類(環形動物門:イソメ科)における新たな隠蔽種の発見と各種の分布	
17:00				日本プランクトン学会奨励賞 受賞記念講演 (16:45-17:30)		B26	後藤龍太郎	死サンゴ礁内部の共生関係:ポネリムシの巣穴に特異的に共生する生物群集について	
17:15				日本プランクトン学会奨励賞 受賞記念講演 (16:45-17:30)		B27	小林元樹	ヤッコカンザシの棲管開口部におけるひさし構造の急速な再生	
17:30				休憩 (17:30-18:00)					
18:00				懇親会 (18:00-20:00)					

発表プログラム 2020年 9月20日 (日)

会場1					会場2				
開始時間	座長	番号	演者	演題	座長	番号	演者	演題	
8:50								挨拶・諸注意 (8:50-9:00)	
9:00						B28	松政 正俊	ハクセンシオマネキの誘引ダンス: 求愛ダンスとどう違うのか?	
9:15						B29	逸見泰久	Wavingの起源は、感覚トラップか? 1. 単純なハサミの動きが雌雄の放浪個体を誘引する	
9:30						B30	伊谷 行	ヤドリムシとフクロムシ、どっちがすごい? —フタホシシガニに与える影響の比較—	
9:45				挨拶・諸注意 (9:50-10:00)					
10:00		P17	矢野諒子	リン制限と強光阻害が近年の瀬戸内海における植物プランクトンの劇的な種遷移をもたらす	石田 惣 (9:00-)	B31	木村妙子	三重県田中川干潟におけるウミユリの生態と環境の季節変動	
10:15	山田雄一郎 (10:00-)	P18	萩原綾美	広島県賀茂川河口干潟に生息する底生珪藻類の環境適応性		B32	菅 孔太郎	鹿児島湾の汽水域におけるヤマトカワゴカイ(環形動物門ゴカイ科)の幼生加入過程	
10:30		P19	松本卓真	北海道沿岸域におけるバイオフィーム内の付着珪藻類の季節変動		B33	石村理知	アマモ地下茎に生息するネムグリガイの繁殖集団サイズ	
10:45		P20	剣持瑛行	駿河湾沖合域における海産枝角類の大量出現メカニズム—粒子追跡実験による検証		B34	三浦 収	海岸生態系の津波からの回復を「寄生虫」から推定する	
11:00		P21	石倉明依	2016-2019年における駿河湾のオキアミ類群集の個体群動態				休憩 (10:45-11:00)	
11:15	平井惇也 (10:45-)	P22	大竹裕里恵	ミジンコ個体群の新生息地移入に伴う環境適応機構: 湖沼堆積物と休眠卵を用いた遺伝構造と形質の時系列変動分析から				日本ベントス学会 総会・学生発表賞授賞式 (11:00-12:00)	
11:30		P23	刘 鑫	琵琶湖における <i>Eodiaptomus japonicus</i> の成長及び生産量の準10年周期: 北極振動との関連					
11:45				休憩 (11:45-12:00)					
12:00				昼食 (12:00-13:00)					
13:00		P24	米田壮汰	近底層性カイアシ類 <i>Macandrewella stygiana</i> のクチクラレンズを持つノープリウス眼				日本ベントス学会奨励賞 受賞講演1 (13:00-13:45)	
13:15	大西拓也 (13:00-)	P25	古閑伸一	底生性かいあし類 <i>Tigriopus japonicus</i> の培養密度と付着基質表面積の関係				遠見由美会員 「ハゼとヤビーボンブ ~エビの巣穴を間借りするハゼの話~」	
13:30		P26	小針 統	北部薩南海域におけるジンベエザメの餌料源					
13:45		P27	一宮睦雄	鹿児島湾口域における春季ブルームの珪藻細胞密度と種組成				日本ベントス学会奨励賞 受賞講演2 (13:45-14:30)	
14:00	仲村 康秀 (13:45-)	P28	内藤佳奈子	瀬戸内海東部海域における赤潮原因プランクトンおよび微量金属の分布と挙動				清家弘治会員 「底生生物の生痕を研究する: 潮間帯から深海まで」	
14:15		P29	小原静夏	広島湾北部での海底耕耘における植物プランクトンの量・組成・生産速度への影響					
14:30				休憩 (14:30-14:45)				休憩 (14:30-14:45)	
14:45		P30	佐野雅美	エタノールに代わる分子生物学的解析のための動物プランクトン固定手法		B35	竹内 一郎	高水温下でIrgarol 1051(除草剤)に曝露したウスエダミドリイシ <i>Acropora tenuis</i> の体色と光合成収率の変動過程の解析	
15:00	鈴木健太郎 (14:45-)	P31	大西拓也	浮遊性カイアシ類 <i>Neocalanus</i> 属3種の休眠時発現変動遺伝子の特定		B36	堀 正和	気候変動による潜在的生態系サービスの变化予測: 石西礁湖における白化前後での比較	
15:15		P32	山口 篤	西部北極海における中層性肉食性カイアシ類2種( <i>Paraeuchaeta glacialis</i> と <i>Heterorhabdus norvegicus</i> )の個体群構造と生活史	金谷 弦 (14:45-)	B37	中村 崇	ミドリイシ属サンゴにおける大規模白化の影響とその後の回復傾向	
15:30		P33	山田和正	パルマ藻と未記載藻スケールパルマの微細構造学的比較		B38	井口 亮	底質リン酸塩によるサンゴ石灰化阻害とそのメカニズム解明	
15:45		P34	黒沢則夫	東南極ラングホブテ露岩域の海跡湖さぐる池における真核生物プランクトン群集		B39	安岡法子	トリガイ狙いの漁網の目合拡大が小型甲殻類の漁獲に及ぼす影響について	
16:00	岸 正敏 (15:30-)	P35	高木悠花	浮遊性有孔虫の光共生の究明		B40	長崎慶三	水圏環境中における新たなウイルスモニタリング技術の提案	
16:15		P36	仲村康秀	リザリア類(フェオダリア類・放散虫類)と他生物との生態的關係: 捕食・被食関係、共生藻類および「リザリアライダー現象」				休憩 (16:15-16:30)	
16:30				日本プランクトン学会 学生優秀発表表彰式・閉会挨拶 (16:30-16:45)		B41	橋詰和慶	荒川感潮域の干潟でのヤマトシジミ( <i>Corbicula japonica</i> )の4年間にわたる成長の季節変化	
16:45						B42	樹本輝樹	江戸川(江戸川放水路)における底生生物分布の長期変化	
17:00					千葉 晋 (16:30-)	B43	奥迫 優	瀬戸内海の島しょ部における干潟ベントスの群集構造と環境条件の関係	
17:15						B44	金谷 弦	瀬戸内海潮下帯における底層環境・埋性ベントス群集の長期的な変化と将来予測 —1980年代以降の行政調査データを用いた時空間変動解析—	
17:30						B45	宮本 康	「海の歴史生態学」で水月湖のベントス群集の長期変化を推定する	
17:45						B46	吉野健児	現在の水俣湾におけるベントス群集と底泥総水銀の影響	
18:00								閉会挨拶 (18:00-18:10)	